

青少年育成活動と地域活性化に尽力

青少年育成島根県民会議会長表彰 藤原 整二氏(高尾)

藤原さんは、平成2年に青年団に入団以来、青少年の健全育成について各種研修大会に参加するなど自己研鑽に努め、その実績努力が認められ平成10年から現在まで少年補導委員を委嘱されています。

また、平成5年から現在まで三成地区社会福祉振興協議会青少年部長として、子どもたちとのふれあい活動を積極的に行っていきます。特に種まきから収穫、ソバ打ちまでを体験する体験学習を主宰したり、ソバ打ち体験道場を年数回開催するなど地域の活性化にも貢献されており、その功績により表彰されました。



▶福本新議長



町議会議長交代 福本修議員が就任

千原祥道議長から健康上の理由により議長職の辞職願が提出され、5月17日に開かれた第3回臨時会で許可されました。新議長に福本修議員、新副議長に景山孝志議員がそれぞれ指名推薦により決定しました。



▲3人で固い握手(左より福間会長、井上町長、品田所長)

災害への迅速な対応のために 応急対策業務調印式

近年多発する災害に備えるため、奥出雲町建設業協会、東亜道路工業(株)島根営業所と町による「風水害・地震災害・その他の災害応急対策業務に関する協定書」の調印式が五月三十一日、役場仁多庁舎で行われました。

この協定は、風水害や地震などで道路・河川等が被災した場合、道路・河川等の公共土木施設のパトロール、障害物の撤去、通行規制措置などの応急対策を迅速に行い、町民の安全を確保することを目的に締結されました。

調印式では、井上町長、福間久八奥出雲町建設業協会会長、品田秀之東亜道路工業(株)島根営業所長が協定書に調印し、固い握手を交わし互いの協力を確認しました。



▲田植え囃子に合わせて手植えをする早乙女



▲昔ながらの田植えを体験する参加者

昔ながらの米作り 一味同心塾で田植え交流会

五月二十六日、上阿井にある「一味同心塾」前の水田で、昔ながらの手植えを体験する田植え交流会が行われ、町内外から約百人が参加しました。この田植え交流会は、都市住民との交流や食の安全について考えようと、同塾米づくり委員会が毎年開催しています。

はじめに神事が行われ、田の神「サンバイさん」に豊作を祈願した後、真地自治会の内容田植え囃子保存会による華やかな田植え囃子が披露されました。

続いて、「早乙女花」とも呼ばれる薄紫色のタニウツギの花が飾られた田に、かすりの着物を着た早乙女が囃子に合わせて手植えを行いました。また、参加者も田に入り、足を取られ悪戦苦闘しながらも、賑やかに手植えを楽しみ交流を深めました。

今後米づくり委員会の皆さんにより水田の管理等が行われ、秋には稲刈りの体験交流が行われる予定です。

奥出雲町から世界を目指す 東洋製鉄(株)機械工場棟を新設



▲新設された機械工場棟

上阿井にある東洋製鉄(株)出雲仁多工場で、新設された機械工場棟の竣工式及び落成式が五月十一日、来賓や関係者など約四十人の出席の下、行われました。

新機械工場棟は、島根県企業立地促進条例による立地計画の認定を受け、平成二十三年十月から着工したもので、延べ床面積千四百八平方メートルの鉄骨造平屋建て構造となっています。

落成式の中で東洋製鉄(株)の音頭宏紀代表取締役社長が「製造業にとって厳しい経済状況の中、会社の製造部門の

主力である出雲仁多工場に新工場棟を作ることができた。建設に関わったすべての人に感謝したい。この新工場棟から、地元の奥出雲町や島根県、そして日本に貢献する、どこにも負けない世界に通用する製品が作りだされることを確信している」と意気込みを語りました。また、来賓を代表して島根県商工労働部の門脇伸夫次長から「この度の新設が地域の雇用機会の増大に貢献することを期待する。県としても活力ある島根の実現に向けて、立地企業を援助していきたい」とあいさつがありました。



▲意気込みを語る音頭代表取締役社長

新工場棟は、大型化する建機に対応するため機械加工部門を増設し、大型鋳造品の増産に向け稼働する予定です。

「いぎ、出陣！」要害山山城祭



▶山頂を目指す武者行列

賑わう玉峰山山開き、しゃくなげ登山会

新緑のまぶしい五月十三日、亀嵩地区にある玉峰山で、山開きとしゃくなげ登山会が行われました。

はじめに、亀嵩観光文化協会主催の山開き安全祈願祭が玉峰山森林公園広場で行われ、登山客や関係者など約百人が出席し、シーズン中の山の安全を祈りました。

主催者を代表し、原田勲会長が「玉峰山は、多くの滝や岩など変化に富んだ景観に恵まれ、初心者にも登りやすい山として知られている。亀嵩

戦国武将三沢氏の遺徳を偲ぶとともに、登山者の安全と地域の発展を祈願する要害山山城祭が五月二十七日、三沢城跡保存会の主催で行われました。

三沢小学校児童と地区の中学生約三十人が手作りの甲冑を身にまとい、みざわの館から山頂までほら貝や太鼓の音を響かせながら勇ましい姿で武者行列を披露しました。

山頂では、児童たちにより

戦の出陣式である「三蔵の儀」が行われ、大将にアワビ、カチグリ、コンブを献上しました。「いぎ、出陣じゃ。えい、えい、えい」「おー、おー、おー」と元気のよい掛け声が上がると、集まった地元関係者や保護者など約七十人から大きな拍手が送られました。

この日は晴天に恵まれ、山頂からは中国山系を一望できる三百六十度の大パノラマが広がり、当時の名城の面影を偲ばせていました。

の自然を堪能してほしい」とあいさつされました。

神事後、玉峰山しゃくなげ登山会が開かれ、亀嵩公民館の若槻光彦館長が、複数ある登山コースや見所を説明し、参加者は各々で選んだコースで登山を開始し、頂上までの約一時間半の道のりを楽しみました。

登山を楽しんだ後は、公園広場でボランティアの方が用意した揚げたての山菜天ぷらに舌鼓を打ち、しゃくなげ登山会を満喫しました。



▲登山道にある雄滝を眺める参加者